

# 2021春闘スタート!!

## \*\*労使フォーラム開催される\*\*

主要企業の労使が意見を交わす「労使フォーラム」が1月26日に初のオンラインで開催され、事実上の「2021春闘」がスタートしました。

経団連は、事業の継続と雇用の維持が最優先との考えを示し、収益が大幅に悪化している企業は、『基本給を底上げするベースアップは困難とする』一方、安定的に高い水準で推移している企業は、『賃上げすることも選択肢とする』方針を示している。一方、連合の神津会長は「日本の危機をどうやって乗り越えていくかという時に、経済に及ぼす賃金、あるいは賃上げの影響はものすごく大きい。このコロナの危機のもとにあっても、どうやってもモメンタム（勢い）を維持するかが最大のテーマ」とし、改めて、2%程度の賃上げの実現を要求しました。

## 今年の青年部は一味違う!!

会社は新年度をスタートするにあたり「事業計画」を策定し、事業計画に基づき私たちの賃金（人件費）も決められます。基本賃金を増やすためには春闘でかち取るしかありません!!

貨物労組はJR総連春闘の「統一要求・統一闘争」方針のもとで闘いを続けてきた結果、昨年の春闘では、「コロナによって先行きが不透明なためベアは難しい」という考えを示し、計画達成ありきの姿勢を全青年部員の後押しにより切り崩し、賃上げ200円をかち取ってきました。今年も「JR総連春闘」と位置づけ2月6日に書面審議で開催された「第33回定期中央委員会」では、①定昇を除くベースアップ要求6000円、②新規採用の継続などの要員問題改善、③諸制度等の改善、④職場環境改善、の方針を決定しました。

コロナにより多くの企業は業績不振で赤字が出ていますが、貨物会社は、我々の努力により連結・単体ともに黒字で年度末を迎えようとしています。また、長期ビジョン2030を策定し、設備投資に4000億円投資すると言っています。ということはそれだけの企業体力があるということであり、企業体力があるということは、我々の要求を実現させる体力があるということです。今年こそ『ベースアップ実現』、青年部の悲願である『家族手当を基準内賃金に』と様々な諸要求をかち取るために全青年部員で職場から闘いを展開していきましょう!!

## 2021JR総連春闘は 青年部が牽引するぞ!!